

1415

(二) 滿洲國建國宣言 (七.三.一)

Doc # 1415 a
7 pages
90-11 ✓

SP. 301

22

23

REEL No. A-0286

0010

アジア歴史資料センター

滿洲國建國宣言

想フニ我カ滿蒙各地ハ邊陲ニ屬在シ開國綿遠ナリ。諸レヲ往籍ニ徵シテ分併稽フヘシ。地質膏腴、民風樸茂。開放ヲ經ルニ迨ンテ生聚日ニ繁ク、物産豐饒實ニ奧府トナル。乃チ辛亥革命自リ共和國成立以來、東省ノ軍閥ハ中原變亂ノ機ニ乘シテ、政權ヲ攫取シ、三省ニ據リテ己カ有トナシ、貔貅相繼キ、竟ニ將エ廿年ナラントス。狼厲貧婪、驕奢淫佚、民生ノ休戚ヲ顧ミルコトナク一ニ惟レ私利ヲノミ是レ圖ル。

内ハ則チ暴横征、恣意揮霍、以テ幣制紊亂、百業凋零ヲ致セリ。且復時ニ野心ヲ逞ウシテ兵ヲ關内ニ進メ、地方ヲ擾害シ、民命ヲ傷

外務省

殘ス。一再敗衄スルモ尙ホ悛悔セス。外ハ則チ信義ヲ廢棄シ、雙ヲ隣邦ニ開キ、夙ニ親仁ノ規ヲ昧マシ、專ラ取ツテ排外ヲ事ト爲ス。加フルニ警政修マラサルヲ以テ、盜匪ノ横行四境ニ遍ク、至ル處、擄掠焚殺シテ村里一空、老若溝壑、餓殍途ニ載ス我カ滿蒙三千萬民衆、命ヲ此ノ殘暴無法ノ區域内ニ託スルハ死ヲ待ツノミ、何ソ能ク自ラ脱センヤ。今ヤ何ノ幸ソ、手ヲ隣師ニ借リテ茲ニ醜類ヲ驅リ、積年軍閥盤踞シ、秕政萃聚セル地ヲ舉ケ一旦ニシテ之ヲ廓清ス。此レ天我カ滿蒙ノ民ニ蘇息ノ良機ヲ予ヘシナリ。吾人ノ當ニ奮然トシテ興起シ邁往無前、以テ原始ヲ圖ルヘキノミ。

是ヲ惟フニ内、中原ヲ顧ミレハ改革自リ以還、初メハ則チ群雄角逐

外務省

シテ争戦頻年、近クハ則チ一黨專横ニシテ國政ヲ把持ス。何ヲカ民
 生ト云フ、實ニ之ヲ死ニ置クナリ。何ヲカ民權ト云フ、唯利ヲ是レ
 專ラニスルナリ。何ヲカ民族ト云フ、但タ黨アルヲ知ルノミ。既ニ
 日ク天下ヲ公ト爲スト。又日ク黨ヲ以テ國ヲ治ムト。予盾乘謬、自
 ラ欺キ、人ヲ欺ク。種々ノ詐偽ハ窮詰スルニ勝ヘス。比來内鬪迭々
 起リ、疆土分崩シ、黨且自ラ存スル能ハス、國何ソ能ク顧ミラレン。
 是ニ於テ赤匪横行シ、災祲薦リニ告ク海内ヲ毒痛シ、民怨沸騰シ政
 體ノ不良ヲ痛心疾首セサルハ無シ。而シテ曩昔ノ政治清明ノ會ヲ追
 思ス。直ニ唐虞三代ノ遠キ如キハ幾及スヘカラス。此レ我カ各友邦
 ノ共ニ目睹シ、而シテ同シク感慨ヲ深ウスル所カリ。夫レ二十年試

外務省

驗ノ得ル所ヲ以テスレハ其ノ結果一ニ此ニ至ル。亦廢然トシテ返ル
 ヘシ矣。乃チ猶疾ヲ諱シ、醫ヲ忌ミ、其ノ舊惡ヲ怙ミ、詞ヲ民意ノ
 從違未タ遏抑スヘカラサルニ藉ランカ、然ラハ則チ其ノ之ク所ヲ縱
 ニセハ、浸ク共產ニ至ルノミニ非ス、自ラ亡國滅種ノ地ニ陥リテ已
 マサラン。
 今、我カ滿蒙民衆ハ天賦ノ機縁ヲ以テ、カメテ振拔ヲ求メ、自ラ政
 治萬惡國家ノ範圍外ニ脱セサレハ、勢必ス胥ヒ載セテ瀕ニ及ヒ、同
 盡ニ歸サンノミ。數月來幾度カ奉天、吉林、黑龍江、熱河、東省特
 別區、蒙古各盟旗ノ官紳土民ノ集合ヲ經テ、詳ニ研討ヲ加ヘ、意思
 既ニ一致ニ趨ク。以爲ヘラク爲政ハ多言ヲ取ラス、只實行如何ヲ視

外務省

ルノミ。政體ハ何等ヲ分タス、只安集ヲ以テ主ト爲ス。滿蒙ハ舊時
本ト別ニ一國ヲ爲ス。今ヤ時局ノ必要ヲ以テ自ラ樹立ヲ謀ラサル能
ハスト。應ニ即チ三千萬民衆ノ意向ヲ以テ即日宣告シテ中華民國
關係ヲ脫離シ、滿洲國ヲ創立ス。茲ニ特ニ建設綱要ヲ將テ中外ニ昭
布シ、咸ク聞知セシム。

竊ニ惟フニ政ハ道ニ本ツキ、道ハ天ニ本ツク。新國家建設ノ旨ハ一
ニ以テ順天安民ヲ主ト爲ス。施政ハ必ス眞正ノ民意ニ徇ヒ、私見ノ
或存ヲ容サス。凡ソ新國家領土内ニ在リテ居住スル者ハ皆種族ノ岐
視尊卑ノ分別ナシ。原有ノ漢族、滿族、蒙族及日本、朝鮮ノ各族ヲ
除クノ外、即チ其他ノ國人ニシテ長久ニ居留ヲ願フ者モ亦平等ノ待

CH本編第B5

SP. 301

27

JU 28

外務省

遇ヲ享クルコトヲ候。其ノ應ニ得ヘキ權利ヲ保障シ、其ヲシテ絲毫
モ侵損アラシメス。竝ニ力ヲ竭クシテ往日黑暗ノ政治ヲ除シ、法
律ノ改良ヲ求メ、地方自治ヲ勵行シ、廣ク人材ヲ收メテ賢俊ヲ登用
シ、實業ヲ獎勵シ、金融ヲ統一シ、富源ヲ開闢シ、生計ヲ維持シ、
警兵ヲ訓練シ、匪禍ヲ肅清セム。更ニ進ンテ教育ノ普及ヲ言ヘハ、
當ニ禮教ヲ是レ崇フヘシ。王道主義ヲ實行シ、必ス境内一切ノ民族
ヲシテ熙熙々トシテ春臺ニ登ルカ如クナラシメ、東亞永久ノ光榮
ヲ保チテ世界政治ノ模型ト爲サム。其ノ對外政策ハ則チ信義ヲ尊重
シテ、カメテ親睦ヲ求メ、凡ソ國際間ノ舊有ノ通例ハ遵守ヲ敬謹セ
サルコトナシ。其ノ中華民國以前各國ト定ムル所ノ條約、債務ノ滿

CH本編第B5

SP. 301

28

JU 29

外務省

蒙新國領土以內ニ屬スルモノハ、皆國際慣例ニ照シ繼續承認シ、其ノ自ラ我カ新國境內ニ投資シテ商業ヲ創興シ利源ヲ開拓スルコトヲ願フモノ有ラハ、何國ニ論ナク一律ニ歡迎シ、以テ門戶開放機會均等ノ實際ヲ達セム。

以上宣布セル各節ハ新國家立國主要ノ大綱タリ。新國家成立ノ日ヨリ起リ、即チ當ニ新組織ノ政府ニ由リテ其ノ責任ヲ負フヘシ極メテ誠懇ナル表示ヲ以テ、三千萬民衆ノ前ニ向ヒ實行ヲ宣誓ス。天地昭鑑、此ノ言ヲ渝フルコトナシ

大同元年三月一日

滿洲國政府

外務省

(日本標準規格B5) SP. 301 29 30